

21世紀文明研究セミナー2010

## 家庭部門のCO<sub>2</sub>排出量削減

— うちエコ診断事業の行政施策への展開 —

---

平成22年11月10日

財団法人 ひょうご環境創造協会

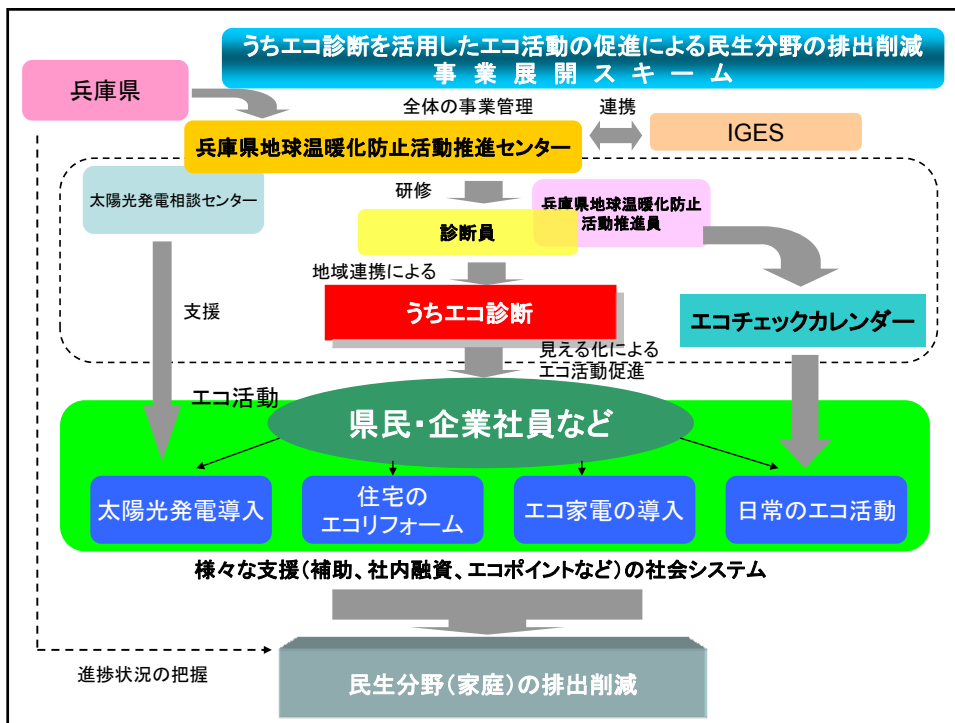
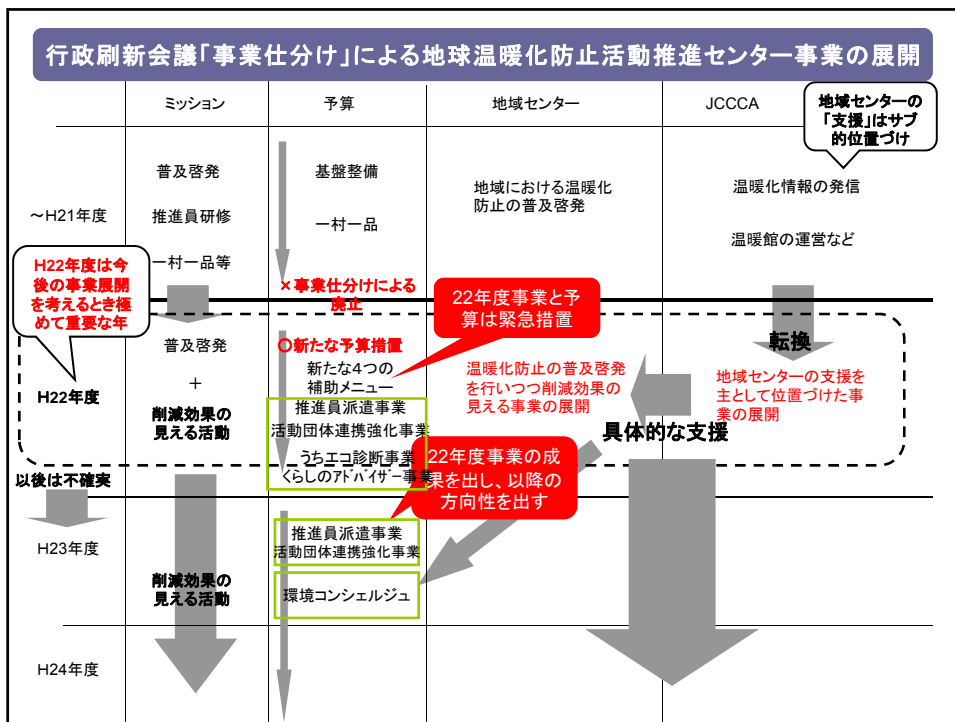
環境創造部次長兼温暖化対策課長 泉 美江子

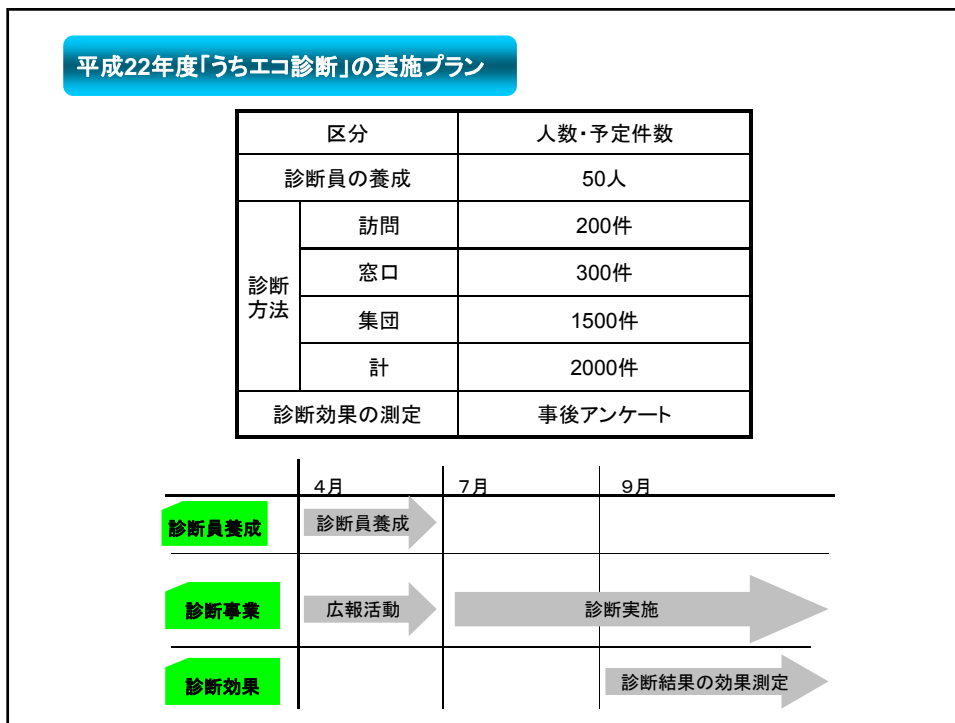
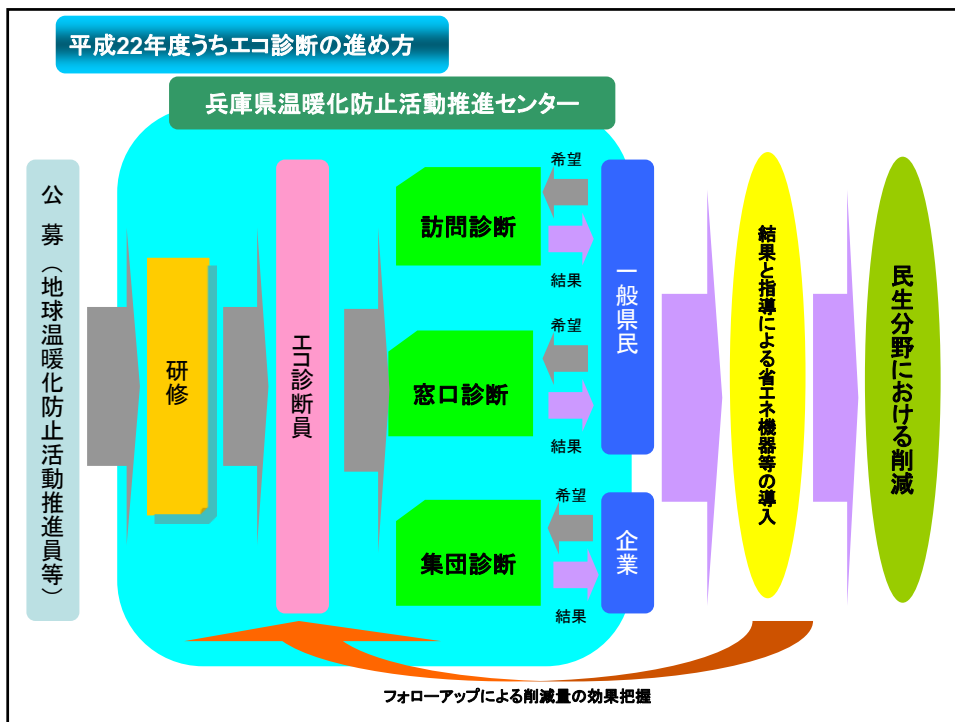
### ● 内 容

- 1 兵庫県での展開
- 2 事業仕分けを受けて
- 3 環境省への提案
- 4 環境コンシェルジュへの採択
- 5 全国展開する場合の課題

IGESの事業展開イメージと年次別計画				
年次	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011~
段階	立上期	充実期	拡大期	自立期
事業内容	<b>システム立上げ</b> ・事業スキーム構築 ・診断ツール開発 ・診断員養成  <b>モデル運用</b> → 訪問診断 ・約100世帯を対象 PR → 企業中心  <b>検証・評価</b> ○構築したシステムで運用可能 ○CO <sub>2</sub> 削減行動の促進効果は高い	<b>システム改善</b> ・診断数増加の仕組み確立 ・診断ツールの精度向上 ・診断員の能力向上 ・自立運営スキームの検討  <b>モデル運用</b> ○訪問診断・・・200件程度 ○窓口診断・・・数百件程度 ○WEB・・・数千～数万 PR → 企業、県、市民団体  <b>検証・評価</b> ○窓口診断・WEB方式の評価 ○データを利用した研究・分析 ○自立運営スキームの検証	<b>システム改善</b> ・診断ツールの改善(継続) ・WEB診断の拡大 ・診断員の能力向上 ・自立運営の試行  <b>モデル拡大</b> ・近畿から全国へ (県、企業、団体) 海外展開の検討  モデル 実施PR → 県民 IGES → データ → 太陽光センター → 改善	
	対象	企業社員	環境への共感が高い団体・市民	一般市民
備考		県が主体的に県民を巻き込んでいくようにする	行政関連組織やNPOが担う方向へ	

IGES関西より兵庫県地球温暖化防止活動推進センターへ			
年次	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H21)
段階	立上期	充実期	拡大期
診断員の養成	募集範囲: 温暖化防止推進員、省エネ普及指導員、NPO、太陽光販売店など  診断員 32名  診断員の選考時に研修(2日)	診断員 32名  診断員の選考時に研修(2日)	募集範囲: 一般公募  スーパー診断員 5名 一般診断員数 39名  診断員の選考時に研修(2~3日)その後、専門研修を実施
	受診家庭募集: IGES ・企業のCSR活動の一環として、川崎重工業、阪急電鉄、みなど銀行が社員家庭に対して募集を実施 ・その他関係機関に募集を実施 ・約100件の診断を実施	受診家庭募集: IGES、協会(太陽光相談指導センター) ・引き続き、企業のCSR活動の一環として、川崎重工業などが社員家庭に対して募集 ・その他関係機関(兵庫県、尼崎市、相生市)に募集を実施 ・約300件の診断を実施	受診家庭募集: 県と協会、市町、企業等に呼びかけ [予定] ・家庭訪問診断(100件程度) ・窓口診断(40件程度) ・地域診断(集団・個別)(360件程度) ・団体向け診断(100社程度)
管理体制	事業運営: 兵庫県うちエコ診断協議会 診断員養成: IGES関西研究センター	事業運営: 兵庫県うちエコ診断協議会 診断員養成: IGES関西研究センター	事業運営: ひょうご環境創造協会 診断員養成: ひょうご環境創造協会





提案した今後の地域センター事業の考え方(案)

**23年度以降、中期(10年ぐらい)のスパ  
ンで継続的な事業に向けて(概要)**


↓

**エコ診断100万戸大作戦の提案**

地域センターの中期的な取り組みの背景とエコ診断の位置づけのイメージ(案)

	2010年	2020年
政府の方針	2020年までの温室効果ガスの削減目標:1990年比25%削減 (すべての主要国による意欲的な目標の合意が前提)	
法整備	地球温暖化対策基本法の制定(温対法の一部改正も) (排出量取引、環境税の導入、新エネの導入など)	
行程表(案)	<p style="text-align: right;">25%の削減</p> <p>産業部門 → 17~24%の削減</p> <p>運輸部門 → エコカーの導入など → 14~25%の削減</p> <p>家庭・業務部門 → 省エネエアコン、太陽光発電(1000万世帯)の導入など → 33~43%の削減</p>	
地域センターの中期的な取り組み(案)	<p style="text-align: center;">位置づけ 寄与</p> <p>H24年度 <b>本格実施</b> エコ診断100万戸大作戦(仮称) (家庭での排出量の見える化による削減行動の促進)</p> <p>H23年度 <b>モデル実施</b> 全国で25000戸(500戸/センター)</p> <p>H22年度 <b>パイロット実施</b> 全国で10000戸(30から200戸/センター)</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block; color: red;">エコ診断全国展開に向けてファーストステップ</p>	





## 環境コンシェルジュへの採択


### (2) 家庭の取組で実現する安全・安心で豊かな暮らし

家庭において、それぞれの状況に応じて環境負荷の低減に向けて、積極的な取組とエコ商品やサービスの選択、導入を行うことが可能となるよう、具体的なアドバイスやわかりやすく正確な情報提供を促進し、安全・安心で豊かな暮らしを実現する。

<p><b>○チャレンジ25キャンペーン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭やオフィスにおいて実現できるCO2削減に向けた具体的な行動を呼びかける国民運動を展開</li> </ul> <p><b>○家庭の状況に応じたアドバイスをを行う環境コンシェルジュの導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭でのエネルギー使用・CO2排出実態及び削減余地を「見える化」した上で、CO2削減行動や省エネ製品の買い替えについてのアドバイスを行う環境コンシェルジュを育成</li> </ul>	<p><b>○環境負荷全体の見える化の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品・サービスについて、原料生産から廃棄に至る各段階についての環境負荷等に関するわかりやすく正確な情報提供を促進</li> <li>・各家庭が日常的に自分たちのエネルギー使用・CO2排出実態を把握できるシステムの導入を促進</li> </ul>
---	--

## 環境コンシェルジュ事業

～お宅の温暖化対策、環境コンシェルジュにお任せください～



Q. 環境コンシェルジュって何なの？何してくれるの？

Q. 環境コンシェルジュって、どんな人になるの？怪しい押し売りじゃないの？

Q. それって私たちにとってメリットがあるの？

Q. 難しいことしないといけないんじゃない？

じゃあ、一度相談してみようかしら！

A. 環境コンシェルジュとは、各家庭のCO2削減の専門家です。簡単なアンケートだけで、無料でお宅のCO2削減と光熱費削減のご提案をします。

A. 温暖化問題に詳しい中立性の高い専門家を養成し、偏った情報を提供しないようにします。また、診断の時には、個別の商品までは強めませんし、個人のプライバシーは守ります。

A. ご提案した対策に取り組んでいただくと、CO2が3割近く下がりますし、ご家庭によっては光熱費も最大で半額以下になります。エコリースを使えば、現金なしでエコ商品が導入いただけます。

A. 日々のちょっとした取組から家電の買換の時のエコ商品の選択まで、お宅の状況や事情に合わせて、相談しながらご提案させていただきます。面倒な光熱費の比較など私たちにお任せ下さい。

※コンシェルジュとは、ホテルなどあらゆる要望、案内に対応する人やサービスを指す言葉として使われています。

## お宅のエコ度を診断します～Aさんの場合～

**Step 1**  
診断、分析




図1 CO2排出の平均比較とランキング

**Step 2**  
対策選択




図2 効果的な対策の選択

**Step 3**  
支援

- ・住宅用太陽光発電: 21万円補助
- ・K市の太陽光発電: 9万円補助
- ・住宅エコポイント: 9万6千円相当補助

ご家庭のCO2排出量が他のご家庭と比べてどの程度かわかります

- ・Aさんは普通の光熱費や家電の使い方、車の利用回数等を簡単にアンケートで答えました。すると・・・
- ・Aさんの家庭では、年間で**約30万円**かかっていて、同じような構成の世帯の中では100世帯中**63位**とわかりました。
- ・我が家の光熱費が思ったよりも高く、Aさんはびっくり。

ご家庭の状況に応じた効果的な削減対策を提案します


- ・エコにも財布にも優しくなろうと思ったAさん。用途ごとにたくさん示されたメニューを見ながら、環境コンシェルジュが細やかな相談に応じます。
- ・Aさんの家庭では、太陽光発電、最寄り駅までの徒歩・自転車通勤、全居室への内窓設置、エコドライブ、節水シャワーヘッド等を行うのが効果的だとわかりました。
- ・この対策を全て行くと、光熱費では年間**約19万円**(CO2では**約50%**)削減されることになります。

CO2削減対策のための政府からの支援策を提示します

- ・取組を宣言したAさんに、環境コンシェルジュから、その対策に利用できる支援メニューのセットをつくってくれます。
- ・例えば、Aさんの場合、太陽光発電補助と住宅エコポイント等の支援が受けられ、全部で**約40万円**になります。

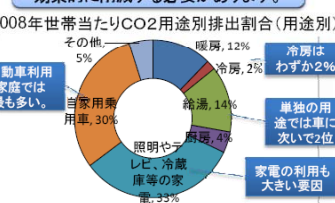
## なぜ環境コンシェルジュが必要なの？

家庭からの温室効果ガス排出量は大幅な削減が必要です。



家庭部門のCO2排出量の推移  
90年比で30%上昇  
20年には半減が必要

家庭の排出量の大きい用途を中心に効果的に削減する必要があります。



2008年世帯当たりCO2用途別排出割合(用途別)

- 電、35%
- 自動車利用 家庭では最も多い。
- 自家用車、30%
- 照明やテレビ、冷蔵庫等の家電、14%
- 暖房、12%
- 給湯、14%
- 冷房はわずか2%
- 単独の用途では車に次いで2位
- 家電の利用も大きい要因

出典) 国立環境研究所のデータをもとに作成

我が家でも取り組みたいけど何をやったらいいの??

**環境コンシェルジュにお任せください。**  
各家庭の温室効果ガスの排出状況を診断し、具体的な取組をアドバイスします。

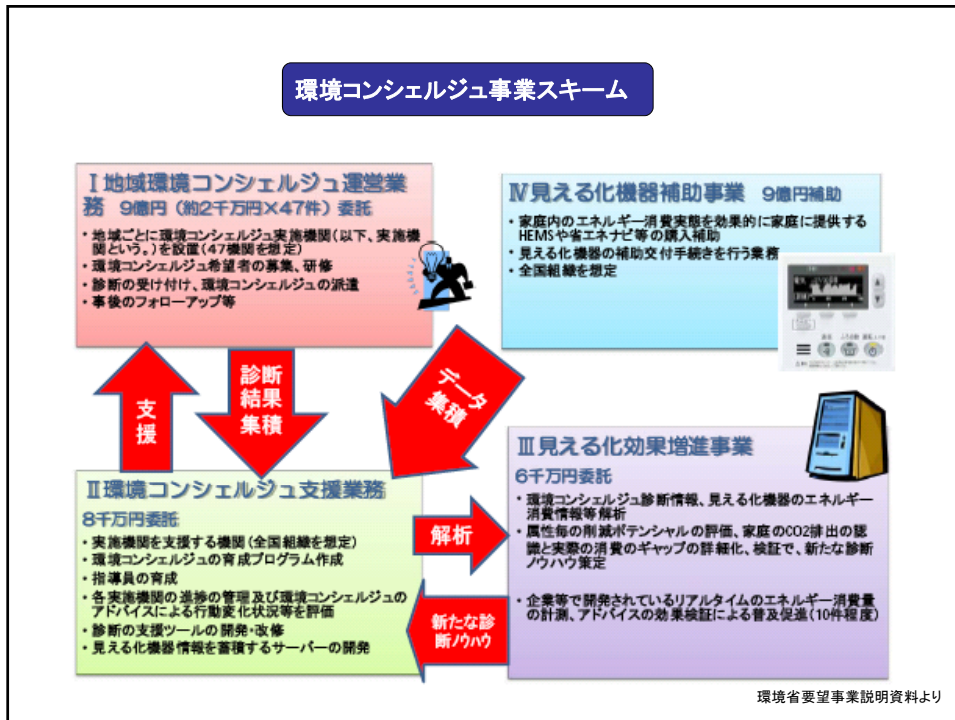
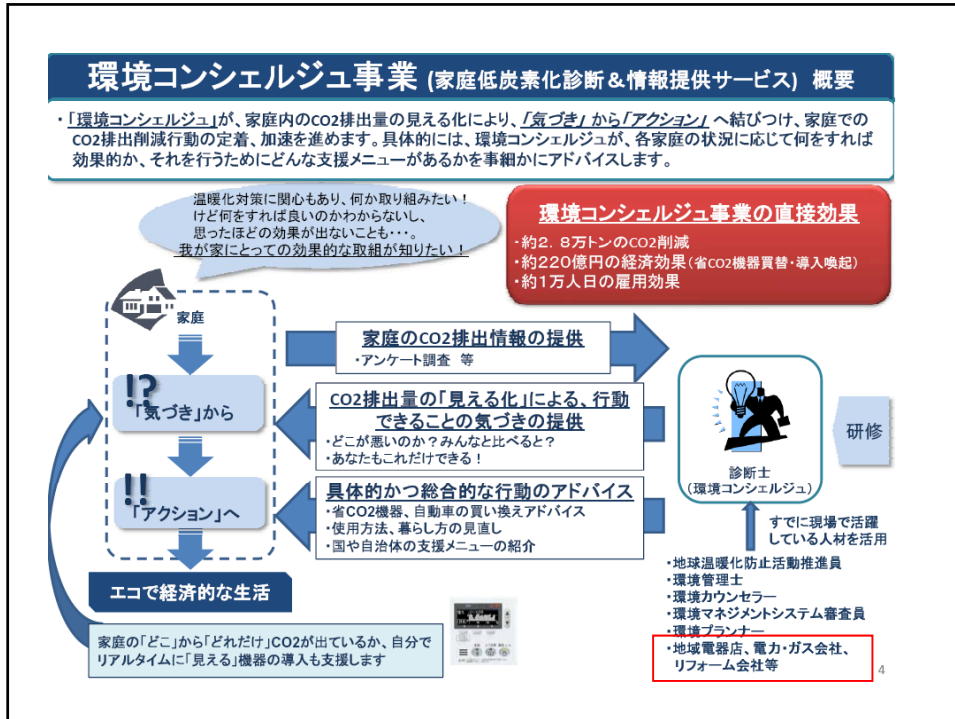
エコにも家計にもプラスになる対策をご提案します。

- ・買換時に環境対応車を選びます。
- ・日々の運転でエコドライブを実行します。
- ・給湯器を高効率なものに交換します。
- ・節水シャワーを利用します。
- ・省エネ家電(冷蔵庫、エアコン等)への買換をします。

国や自治体の補助などお得な仕組みを組み合わせてご提示します。

- ・家電エコポイント
- ・住宅エコポイント
- ・エコリース、融資
- ・税制優遇
- ・太陽光発電の補助金
- 等





**環境コンシェルジュ事業は「元気な日本復活特別枠」要望(合計189事業)のひとつとして政策コンテストにかけられる**

**政策コンテストの流れ**

- ・ ~10月19日 パブリックコメントの募集



- ・ 10月末までに 外部の意見を集約して公表



- ・ 11月13日 「評価会議」が要望の事業目的・効果を公開ヒアリング (14:30~15:00)



- ・ 12月上旬までに 優先度をA~Dにランク付け



- ・ 12月中旬から下旬 菅総理が予算配分を決定

**環境コンシェルジュ事業として、全国実施する場合の課題**

民主党政権は、民間(企業・団体)に任せることを主眼においている。法に基づき指定されているセンターのみで事業展開してよいのか。



うちエコ診断は、「公平・公正」に実施される必要があり、そのためには民間企業に任せず、法に基づき47都道府県等に設置されているセンターが実施することが最も望ましい。

事業は、平成22年度に実施するうちエコ診断事業に比較し、規模が大幅に増強されている。はたして、全国で統一的な実施が可能か。



寒冷地の対策等診断ツールの改善

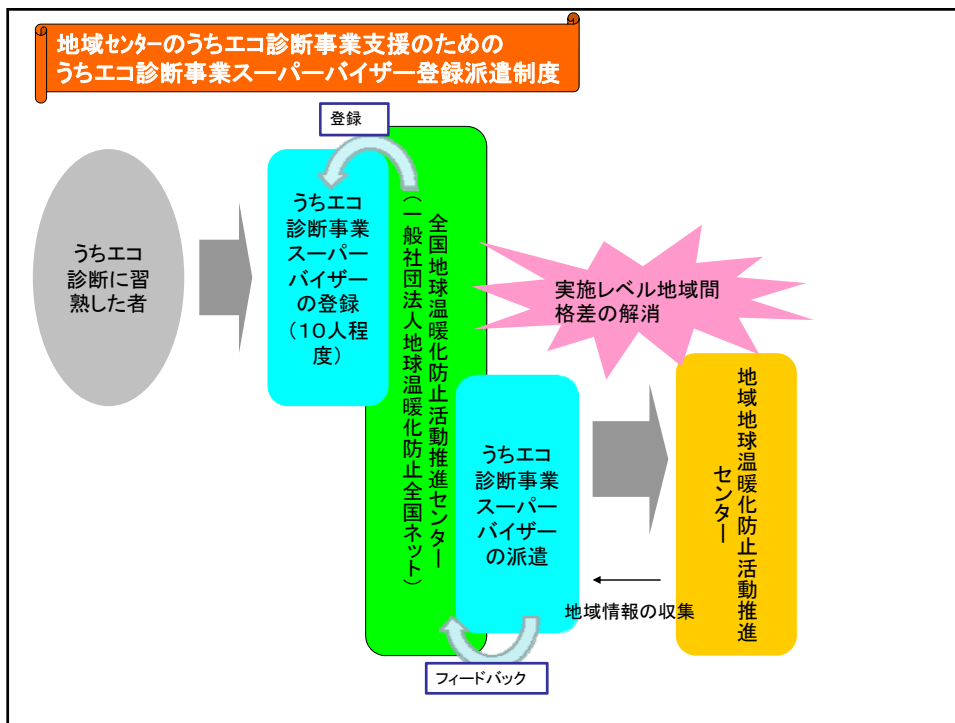
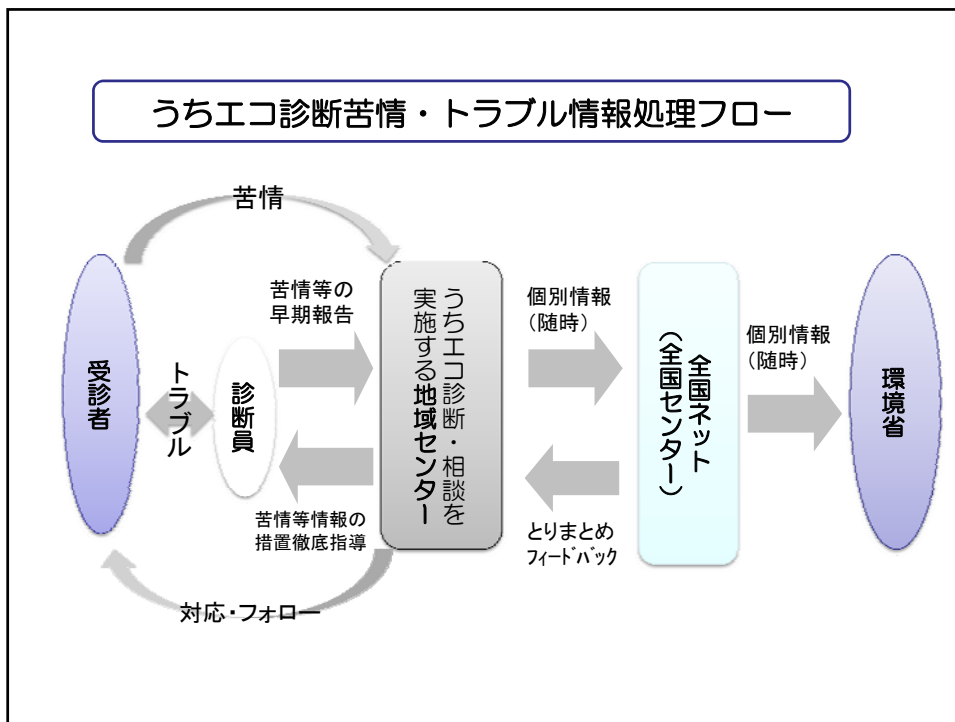
苦情・トラブル処理システム

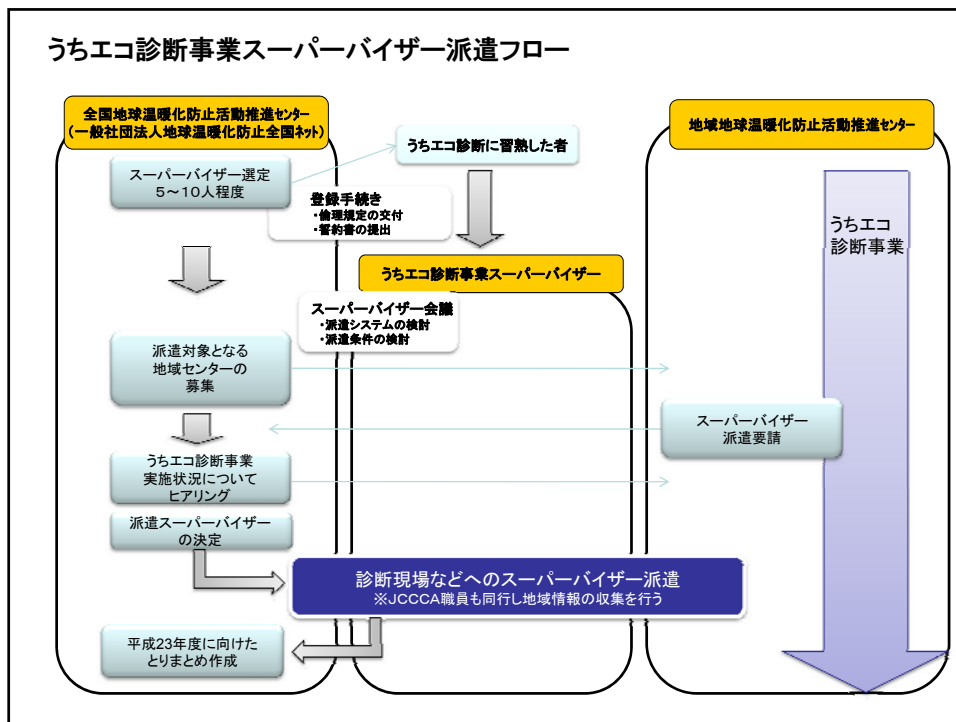
スーパーバイザー登録派遣制度

コンシェルジュ養成プログラムの開発



**全国地球温暖化防止活動推進センター**





ご清聴ありがとうございました。



11月13日の政策コンテスト

にご注目下さい。

